



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A

ICHINOMIYA LIONS CLUB

一宮ライオンズクラブ

国際会長テーマ 「We Serve (われわれは奉仕する)」

一宮LCスローガン 「夢を力に 明るい未来へ ウィ・サーブ」

第 1599 回例会

2023~2024

No.14

次期会長幹事招待例会

例会プログラム

と き 2024年1月24 (水) 12:15
ところ 一宮商工会議所ビル 3F 大ホール
例会担当 マーケティング委員会

お客様のご入場

開会のゴング

国旗に礼

国歌「君が代」斉唱

「ライオンズ・ヒム」斉唱

「ライオンズの誓い」唱和

「クラブスローガン」唱和

お客様のご紹介

会長挨拶

各委員会報告

幹事報告

スピーカーの時間

アテンダンス報告

テールツイスター報告

「また会う日まで」斉唱

ライオンズローア

閉会のゴング

お客様のご退場

次の理事会 (第15回)

と き 2024年2月14日(水) 11:00
ところ 一宮商工会議所ビル 4階 小ホール

次の例会 (第1600回)

と き 2024年2月14日(水) 12:15
ところ 一宮商工会議所ビル 3階 大ホール

【スピーカーのご紹介】

一宮市 副市長

ふく い ひとし
福井 斉 様

◎テーマ

「2023 BISHU FES. を振り返って」

◎プロフィール

S.54年4月 一宮市入職
H.18年4月 市民福祉部 高年福祉課長
H.20年4月 企画部 人事課長
H.22年4月 総務部 限政課長
H.23年4月 総務部 次長
H.24年4月 総務部 長
H.27年4月 副市長 (1期目)
H.31年4月 副市長 (2期目)
R.5年4月 副市長 (現在3期目)

次期会長・幹事ご紹介

一宮サウス LC	次期会長	L	もり やま たか のり 森 山 隆 徳
	次期幹事	L	か ち まさる 可 知 勝
一宮中 LC	次期会長	L	まつ おか たか のり 松 岡 孝 典
	次期幹事	L	やた がい けん じ 八 谷 健 治
稲 沢 LC	次期会長	L	おお さき やす まさ 大 崎 康 正
	次期幹事	L	未 決 定
一宮東 LC	次期会長	L	お がわ とも よし 小 川 智 義
	次期幹事	L	さくら い しん 櫻 井 伸
稲 沢 緑 LC	次期会長	L	おお や たく まつ 大 屋 福 松
	次期幹事	L	なが い ぶし ち 永 井 富志雄
愛知YCE LC	次期会長	L	た 村 こう き 田 村 洸 樹
	次期幹事	L	しも の そ の まこと 下 之 園 誠
一 宮 LC	次期会長	L	の さき あきら 野 崎 章
	次期幹事	L	みず の やす よし 水 野 泰 嘉

◎ LCIF \$1,000寄付ありがとうございます

L大山恭範 (34. 35. 36. 37. 38回目)
L野村政司 (26. 27. 28. 29. 30回目)
L青山吉光 (23回目)
L中川幸男 (14回目)



第 13 回理事会報告

と き 2024年1月10日(水)11:00

ところ 真清田神社 参集殿

L吉江 L西尾 L野寄 L高橋敬 L矢田
L水野 L佐藤彰 L久保 L御子柴 L大山
L青山 L野村政 L石黒 L大島八 L山中
L杉山 L伊藤裕 L中川 L坂井田 L小川
L飯盛 L則竹保 L加藤努

出席者

議 題

1.レインボーダンスフェスティバル決算(12/9)報告
アラート・環境保全社会福祉委員長L水野泰嘉
青少年教育委員長L則竹保利
水野委員長より決算報告がされ、承認されました。

2.江南LC結成65周年記念例会(12/16)報告
会長L吉江有希子
当日、L吉江とL矢田で出席して参りました。華やかな記念式典で、改めてライオンズの素晴らしさを実感致しましたと報告されました。

3.年末家族例会決算(12/25)報告
計画委員長L高橋敬
100名程度の参加を頂きありがとうございましたとお礼の言葉を述べられました。
決算報告がなされ承認されました。

4.木曾川高校プラスバンド部定期講演会(1/7)報告
会長L吉江有希子
尾西市民会館にて開催され出席して参りました。素晴らしい演奏で支援できたことを誇りに思いましたと報告されました。

5.会員増強・会則・スペシャルティクラブFWT委員会(1/10)報告
会員増強・会則・スペシャルティクラブFWT委員長L中川幸男
L大山より西川博様が推薦され、理事会にて承認されました。
特典会員として、L廣川より光子様、L古田より忠久様、明子様か推薦され承認されました。

5.指名委員会(1/10)報告
指名委員長L西尾建一郎
3R1Z ZCにL佐藤彰が推薦され承認されました。
次期第2副会長にL久保が推薦され承認されました。

6.その他
・地区若手リーダー育成研修会(2/7・8)について3R 1Z ZC L川島達司から当クラブより1名選出のお願いがあり、L則竹保利が選出されました。
・後期会費請求について、1月24日頃発送予定で2月末日までに振入をお願いされました。

石川県へ簡易トイレ300個寄贈

1月18日、334-D地区 地区ガバナー L小出進へL森川隆宏の会社より寄贈して頂いた簡易トイレ300個を一宮LCとして寄付しました。



災害ボランティア募集

複合地区アラート委員長 L堀岡昭夫より以下の通り連絡が届きました。

元旦に信じられない能登半島地震が発生いたしました。中能登より北部の社会福祉協議会で『災害ボランティアセンター』が設置されます。



活動は強制されるものではないので、随時最新の情報をお伝えしながらライオンズクラブとして地域に密着したボランティア活動を目指します。
豪雨災害とは違い、地震災害は阪神・東日本のように復興は長期になるでしょう。
被災者に心を寄せながら、元の生活に一日でも早く戻っていただくようお手伝いのできる方を募ります。

★応募される方は一宮LC事務局まで

第 1598 回例会報告

と き 2024 年 1 月 10 日(水) 12:15

と ころ 真清田神社 参集殿

本年度の新年祈願例会が、真清田神社参集殿に於いて開催されました。

吉江会長より元旦にあった能登半島地震においてお話があり、被災地の方々への支援のお願いがありました。また3名の新会員の入会された喜びと是非とも一緒に頑張っていきたいと挨拶されました。

新会員入会式では正会員として伊藤孝晃様、永井映子様、西川博様、また家族会員はL 廣川孝治 1 名、L 古田恵也 2 名合計 6 名が入会され、伊藤孝晃様より代表として宣誓されました。

年男年女ライオン(辰年)のご紹介があり、代表としてL 大島八重子よりご挨拶がありました。その後、誕生日のお祝い、各委員会報告と続き、幹事報告の中で次期 ZC に L 佐藤彰、次期第 2 副会長に L 久保辰也に決定しましたとの報告がありました。

本日の例会スピーカーは、真清田神社宮司辰守弘様で「日本人は神棚と祖霊舎(仏壇)が基本」をテーマに先祖を敬い大切に日本人の良いところにスポットを当



て活動してくださいとのお話がありました。

アテンダント報告は L 田中秀雄よりありました。

最後に次期 ZC 予定者 L 佐藤彰より挨拶とライオズローアがあり、吉江会長の閉会のゴングで例会が終了しました。

担当例会 指導力育成出席委員長 杉山幸紀夫



▲新会員の L 永井映子・L 伊藤孝晃・L 西川博

第 1598 回例会アテンダンス報告

会員数 261 名
 正会員 109 名 賛助会員 12 名
 特典会員 140 名
 例会出席対象会員数 121 名
 出席者 66 名(メーク・アップ 0 名)
 出席率 55%

第 1598 回例会ドネーション・ファイブ

合計 254,000 円

◎ドネーション 254,000 円

L 大島八重子	今度産まれる時も辰年で生またい!	30,000
L 吉江有希子	新年祈願例会皆様と迎えた喜び 新会員伊藤孝晃様のスポンサー	20,000
L 平光昌彦	石川県の復興に!! 古希祝い	15,000
L 大山恭範	新会員スポンサー喜び	10,000
L 佐藤克己	古希祝い	10,000
L 井尾公治	銀婚式祝い	10,000
L 高橋敬	年男迎えて・年末家族例会お礼	8,000
L 矢田賀也	新年祈願例会皆様と迎えた喜び	5,000
L 佐藤彰	新年の喜び	5,000
L 西尾建一郎	年末家族例会欠席のお詫び	5,000
L 青山吉光	もうすぐ 70 歳を迎えて	5,000
L 石黒薫	新会員スポンサー喜び	5,000
L 山中一史	車輜購入	5,000
L 中川幸男	新入会員の入会	5,000
L 志賀隆司	3 年ぶりに例会参加できた喜び	5,000
L 足立博文	還暦の喜び	3,000
L 杉山幸紀夫	年男を迎えて	3,000
L 飯盛剛弘	〃	3,000
L 尾上宜正	〃	3,000
L 久保辰也	〃	3,000
辰守弘宮司	スピーカーのお礼	10,000
	年末家族例会参加者より	47,000
1 月誕生日	L 加藤高浩はじめ 13 名	39,000

◎ファイブ 0 円

ドネーション・ファイブ累計 1,233,000 円

ライオンズ ニュース

Be with all 共に生きる社会を

公益財団法人スペシャルオリンピックス

日本理事長 平岡拓晃



スペシャルオリンピックス(SO)は知的障がいのある人たちにさまざまなスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックス日本(SON)は、国内本部組織としてSOの活動の推進に取り組んでいます。

2023年11月、長野市で、第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲームとしてフロアホッケーとフロアボール競技を開催しました(今回は2024年2月まで、長野市と北海道名寄市との分散開催となります)。SOではオリンピックと同様に夏季・冬季の世界大会がそれぞれ4年ごとに行われます。その前年に開催されるナショナルゲームは世界大会への日本選手団選考を兼ねています。今回は全国から約200人のアスリートが集結し、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

2023年にSON理事長に就任した私にとって初めて大会会長を務める機会となり、開会セレモニーから競技、表彰式まで、全ての



の場面においてアスリートのひたむきな姿や、それを支えるボランティアやコーチらの思いに胸を打たれました。特に表彰はSOの理念が現れていて、その場に居る全ての人が一つになる感動的な瞬間です。SOには「全員表彰」というオリジナルのルールがあり、参加した全てのアスリートが表彰台に上り、順位にかかわらず努力と勇気をたたえ合います。今大会でも全員の胸にメダルとリボンが輝きました。このメダルは、ライオンズクラブ国際財団(LCIF)の支援で製作したものです。メダルを手にしたアスリートは、「コロナ禍で大会が中止になり、練習も出来ず、人にも会えずに不安な時期もあったけれ

ど、それを乗り越えてメダルをもらえてうれしい。このメダルは、がんばってきた自分と支えてくれた周りのみんなの気持ちと同じくらい重くて輝いています。大切にします！」とうれしそうに話してくれました。

メダルを掲げるフロアホッケー競技のアスリートたち(写真提供:スペシャルオリンピックス日本)

SOの活動は、故ジョン・F・ケネディ元アメリカ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバーがアメリカで始めたもので、今では世界201の国と地域に広まり、約330万人がアスリートとして参加しています。LCIFとSOは2001年にパートナーシップを締結。アスリートの健康チェックの視力部門「オープニングアイズ・プログラム」に対する交付金拠出の他、社会参加を国際的に支援してくださっています。今大会でライオンズクラブには、メダルやリボンの他にも弁当などの物資支援、表彰プレゼンターや会場整理といった人的ボランティアに至るまで多大なご支援を頂きました。

私は2度、柔道でオリンピックに出場しましたが、金メダルという目標には届きませんでした。結果を出すことが自分を肯定出来る

唯一の手段と、自らを奮い立たせてきた現役時代。その過程の価値に目を向けることはありませんでした。しかしSOと出会い、自分の



目標を持てること、目標達成のために練習出来る環境や成果を発揮する場があることなど、何の疑問もなく享受してきたものが実は当たり前ではなかったことに気付かされました。私たちが人生を歩む上でこうした環境から得られるものは無限にあり、それは障がいの有無にかかわらず誰にも平等にあるべきです。

SOの活動はスポーツを行う環境を提供するだけでなく、スポーツを通して相手を理解しサポートし合うこと、そして互いを知ることで互いの人生を豊かにすることにつながります。こうした理念を実現するためにご支援くださっているLCIFに、心から感謝申し上げます。そしてこれからも支援を続けていただき、SONのスローガンである「Be with all」、誰もが支え合って生きる社会の実現に向けて、共に歩んでいければと切に願っています。



LCIFの支援で製作されたメダル(写真提供:スペシャルオリンピックス日本)